

第1章

「育成を目指す資質・能力」を
児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定



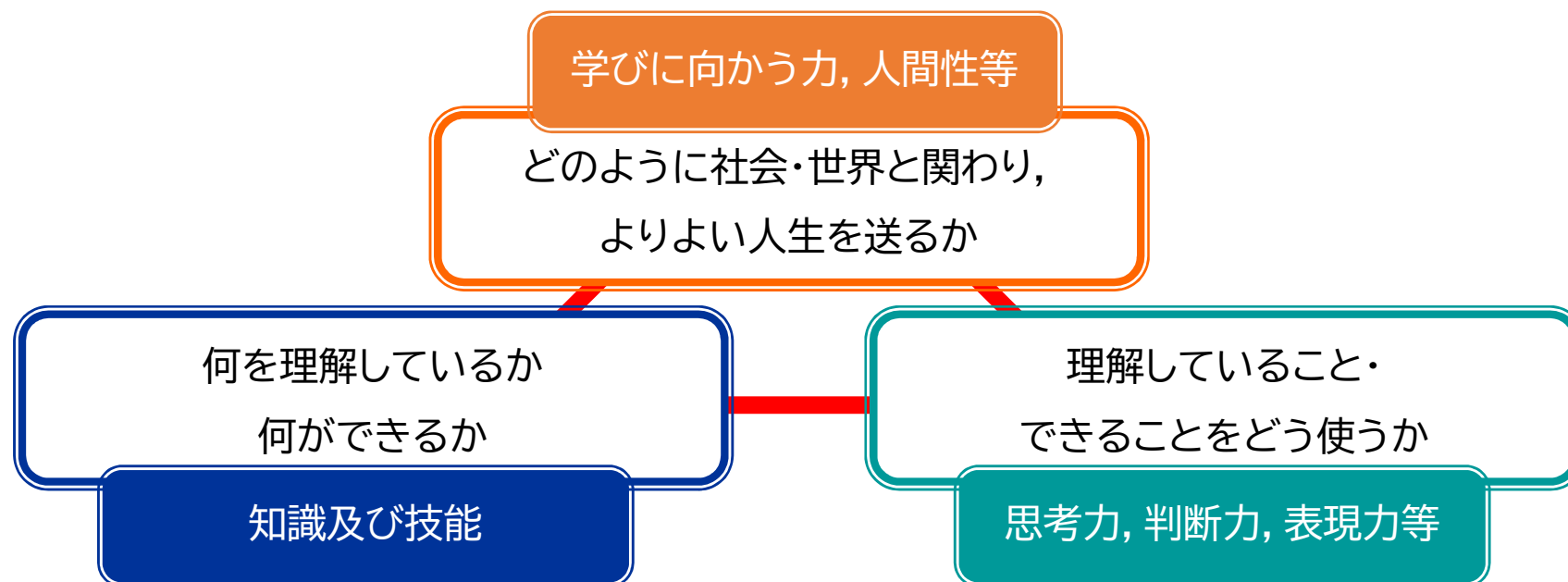
理論・ツール編

宮城県総合教育センター 特別支援教育グループ

「育成を目指す資質・能力」とは



はじめに



各教科の目標や内容について三つの柱に基づき整理

令和3年度

みやぎ授業づくりガイド



主な内容

- 目標や評価規準の設定方法の提案
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の提案 等

令和4年度

みやぎ授業づくりガイド+



主な内容

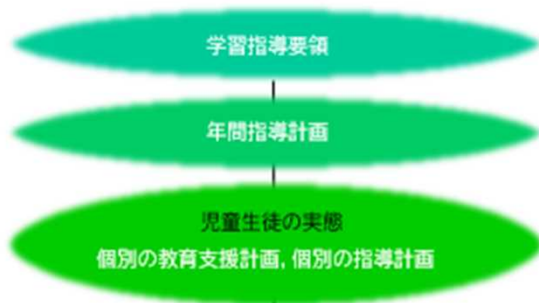
- 「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動を提案
- 学習活動を設定する際に活用するツールを提案



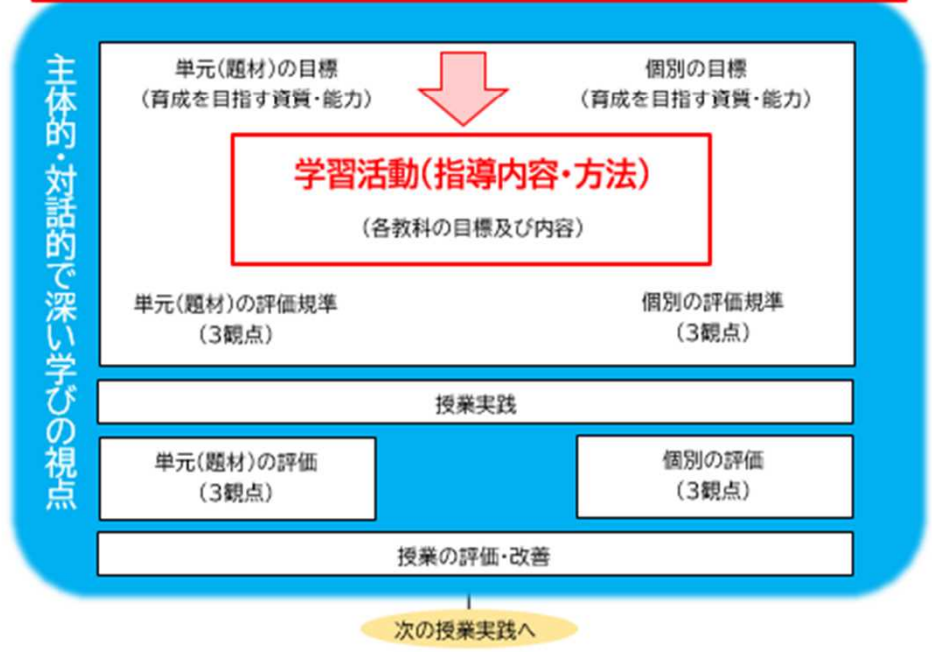
はじめに

二つの成果物を活用することで、知的障害のある児童生徒に、資質・能力を育成する授業づくりに取り組む

授業の構成図



児童生徒の実態に合わせて調整・見直し



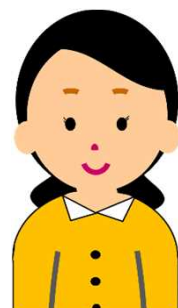
・年間指導計画や
個別の指導計画等を基に、
児童生徒の実態に合わせて
調整・見直し





美田先生

「育成を目指す資質・能力」を踏まえた学習活動をどのように設定したらよいのか困っています。



園子先生

「各教科の目標及び内容」の段階があまり変わらない児童生徒について、どのような点に留意して学習活動を設定したらよいのでしょうか。



宮城先生

児童生徒が学んだことを生活に生かすことができるような学習活動をもっと工夫したいと考えています。



はじめに



悩みの
解決の一助

知的障害のある児童生徒の学習上の特性

学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、
実際の生活場面の中で生かすことが難しい。



実際の生活場面に即しながら継続的、段階的な指導が重要

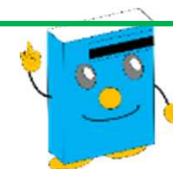
知的障害のある児童生徒の教育的対応

生活に結び付いた具体的な学習を学習活動の中心に据え、実際の
状況下で指導する。

【参考】特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）第4章第2節1, 2
特別支援学校学習指導要領解説 知的障害教科等編（上）（高等部）第5章第2節1, 2



P1-1





P1-1

みやぎ授業づくりガイド+の提案

「育成を目指す資質・能力」を

児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定

生活に結び付けるとは



P1-1

学習内容を児童生徒の生活に沿うようにする, 生かされるようにすること。

学習活動(例)

情感豊かな心

主体的に取り組む

知識・技能の習得・活用

幅広い体験

他者と協働

コミュニケーションを楽しむ

生活に役立つ指導事項

感性を働かせる

自己を発揮する喜びを感じる

生涯にわたって親しむ態度

学習経験の積み重ね

人間的成長

現在及び将来の
生活を豊かに

児童生徒の生活とキャリア発達段階



P1-2

児童生徒の生活

知的障害の状況や特性, 学習状況や経験, 興味・関心等 → 個によって異なる。

学部(学校)の段階ごとのキャリア発達段階 → 障害の有無や軽重に関わらず共通する。

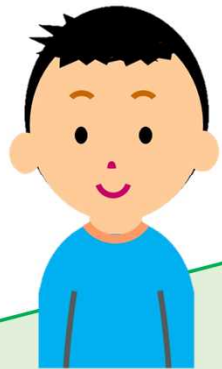
キャリア発達の段階

| 小学部(小学校) | 中学部(中学校) | 高等部(高等学園) |
|--------------------------------|---|--|
| 職業及び生活に関わる 基礎的な能力獲得 の時期 | 職業及び生活に関わる 基礎的な能力を土台に, それらを統合して働くことに応用する能力獲得 の時期 | 職業及び卒業後の 家庭生活に必要な能力を実際に働く生活を想定して具体的に適用するための能力獲得 の時期 |

【参考】知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニング・マトリックス(試案)」国立特別支援教育総合研究所

児童生徒の生活と「場・人・もの」

小学部
(小学校)



中学部
(中学校)



高等部
(高等学園)



名 取 さ ん

「場・人・もの」
が積み重なり、
広がっていく

学習活動の設定イメージ



P1-3

各教科の目標及び内容
(育成を目指す資質・能力)

ポイント① 児童生徒の生活

キャリア発達段階 「場・人・もの」
個の実態(興味・関心, ニーズ, 障害の特性等)

ポイント②

学んだことを生かしている姿

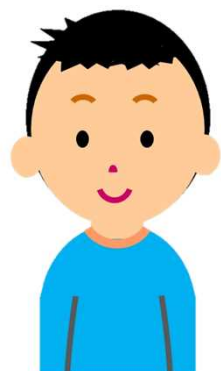
学習活動

小学部・中学部・高等部の学習活動の設定イメージ



P1-4

【各教科の目標及び内容】 算数 A 数と計算 小学部2段階



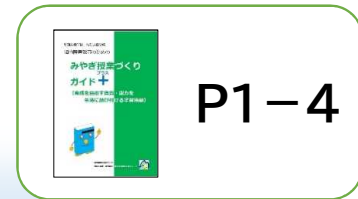
名取さん

| | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
|----|------------------------------|--|--|
| 内容 | ア(ア)㊦ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 | ア(イ)㊦数詞と数字, ものとの関係に着目し, 数の数え方や数の大きさの比べ方, 表し方について考え, それらを学習や生活で興味を持って生かすこと。 | (2段階の目標) ウ数量に関心を持ち, 算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶ態度を養う。 |

特別支援学校在籍

【参考】特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部) 第4章第4節第3

小学部



各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)
算数 A 数と計算 小学部2段階

ポイント①

名取さんの生活

キャリア発達段階を考慮した「場・人・もの」

小学部 場:食堂, 教室 人:友達, 教師 もの:牛乳, ストロー

名取さんの実態

- ・当番活動に意欲的である。
- ・3までの数を数えることができる。

ポイント②

学んだことを生かしている姿

- ・食堂で、学級の友達と教師の人数分の牛乳とストローを数えて教室まで運ぶ。
- ・教室で、人数分の牛乳とストローを正確に配る。

学習活動

教科別の指導「算数」

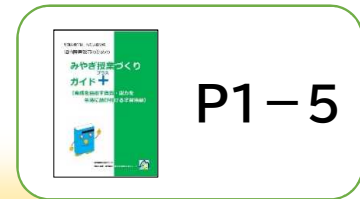
- ・空の牛乳パック5個を数唱しながらかごに入れる。
- ・5までの数を数唱しながら、ストローを仕切りのあるケースに入れる。

給食当番として、人数分の牛乳とストローを配ることができた。



小学部の
名取さん

中学部



P1-5

各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)

算数 A 数と計算 小学部2段階

ポイント①

名取さんの生活

キャリア発達段階を考慮した「場・人・もの」

中学部 場:家庭の台所 人:家族 もの:調理器具, 食器

名取さんの実態

- ・家族思い。
- ・家庭でできることを増やし, 家族の手伝いをしたいと思っている。

ポイント②

学んだことを生かしている姿

- ・家庭で, 食事の準備を手伝う。
- ・調理器具を用意したり, 家族の食器を並べたりする。

家庭で, 食事の準備の手伝いができた。



中学部の
名取さん

学習活動

各教科等を合わせた指導「生活単元学習(職業・家庭, 数学)」

- ・調理室で, グループ数に応じて必要な調理器具の個数を, 作業表を確認しながら準備する。
- ・グループの人数分の食器を準備する。



各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)
算数 A 数と計算 小学部2段階

ポイント①

名取さんの生活

キャリア発達段階を考慮した「場・人・もの」

高等部 場:職場実習先 人:職場の人 もの:商品

名取さんの実態

- ・今度, 職場実習先に行く。
- ・指示されたとおりに, 仕事ができるか不安を感じている。

学習活動

各教科等を合わせた指導「作業学習・食品製造班(数学, 家庭)」

- ・作業を行う中で, コーヒーシュガーを10本まで数え, 向きをそろえて袋詰めをする。

ポイント②

学んだことを生かしている姿
・職場実習先で, 職場の人と協力して, 指示されたとおりの個数の商品を袋詰めする仕事を行う。

職場実習先で, 商品の個数を指示されたとおりに袋詰めすることができた。



高等部の
名取さん

ツールを活用した学習活動の設定



P1-6

年間指導計画等の確認

年間指導計画に示された調整・見直し前の学習活動
・おはじきを5まで数え、紙皿に置く。

学習活動の設定

二つの
ツールの
活用

ツール1

場・人・ものマトリックス

ツール2

学習活動(指導内容・方法)設定シート

授業実践

調整・見直し後の名取さんの学習活動
・空の牛乳パック5個を、数唱しながらかごに入れる。

学んだことを生かしている姿の実現



給食当番として、人数分の牛乳を配ることができた。

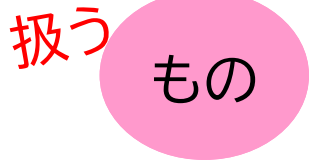
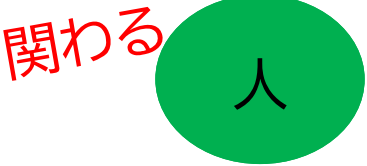
ツールの活用を通してできること

- 児童生徒の生活を捉えること（ **ポイント①** と対応）
- 「学んだことを生かしている姿」を考えること（ **ポイント②** と対応）
- 育成を目指す資質・能力（各教科の目標及び内容）を明確にすること



「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定とすることができます。

「場・人・ものマトリックス」について



宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

知的障害のある児童生徒のキャリアプランニングマトリックス (職業)

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりやキャリア発達段階と組み合わせで示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して示しています。児童生徒の実態、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階は「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

| 学部 | 小学部(小学校) | 中学部(中学校) | 高等部(高等学校) |
|-------------------------|-------------------------|--|--|
| キャリア発達段階 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 |
| 職業 | 作業や道路に関わるもの | 作業や道路に関わるもの | 接客接客、接客に関わるもの |
| 手伝いや役員、仕事について知るために関わるもの | 手伝いや役員、仕事について知るために関わるもの | 手伝いや役員、仕事について知るために関わるもの | 接客接客、接客に関わるもの |
| 経済 | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの |
| 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの |
| 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの |
| 家庭 | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの |

【参考】知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス(職業)」図は特別支援教育研究グループ

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

知的障害のある児童生徒のキャリアプランニングマトリックス (関わる人)

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりやキャリア発達段階と組み合わせで示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して示しています。児童生徒の実態、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階は「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

| 学部 | 小学部(小学校) | 中学部(中学校) | 高等部(高等学校) |
|-------------|-----------------------|--|--|
| キャリア発達段階 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 |
| 職業 | 接客接客、接客に関わるもの | 接客接客、接客に関わるもの | 接客接客、接客に関わるもの |
| 経済 | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの |
| 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの |
| 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの |
| 家庭 | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの |

【参考】知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス(関わる人)」図は特別支援教育研究グループ

宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

知的障害のある児童生徒のキャリアプランニングマトリックス (扱うもの)

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりやキャリア発達段階と組み合わせで示しています。具体的な事例は、学部(キャリア発達段階)を考慮して示しています。児童生徒の実態、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階は「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

| 学部 | 小学部(小学校) | 中学部(中学校) | 高等部(高等学校) |
|-------------|-----------------------|--|--|
| キャリア発達段階 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 | 職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期、それらを実践して働くことに応用する能力獲得の時期 |
| 職業 | 作業や道路に関わるもの | 作業や道路に関わるもの | 接客接客、接客に関わるもの |
| 経済 | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの | 買い物に関わるもの |
| 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの | 遊びに関わるもの |
| 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの | 身近な地域に関わるもの |
| 家庭 | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの | 家庭生活を営む上で関わるもの |

【参考】知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス(扱うもの)」図は特別支援教育研究グループ

知的障害のある児童生徒の生活の変化において、共通して積み重なり広がっていく「場・人・もの」とキャリア発達段階を組み合わせで示したものの

「場・人・ものマトリックス」の見方



生活場面のカテゴリー
 キャリア発達段階を基に、「職業」「経済」「余暇」「地域」「家庭」の五つに分類

| | 中学部(中学校) | 高等部(高等学園) |
|----|--|--|
| 職業 | 手伝いや役割, 仕事について知るために 学級, 家庭, 学校, 近くの店や道路 など | |
| 経済 | 買い物に関わる場 近所の店, 飲食店 など | 消費生活に関わる場 販売会場, 目的 金融機関, 消費生活センター, インターネット店舗, 専門学校, 近くの店舗 など |
| 余暇 | 遊びに関わる場 自宅, 公園, 習い事の場, 放課後等デイサービス, 公共施設(児童館, 図書館, 体育館), 友達の家 など | 余暇を有効に過ごすために関わる場 趣味を楽しむ場所(コンサート会場, スポーツ観戦場, 試合会場, イベント会場), 部活動の活動場所 など 地域のサークル活動場所, 余暇施設, 観光先, 旅行先 など |
| 地域 | 身近な地域で関わる場 居住地の近隣(家の周り, 自然, 通学路, 駅, 病院, お祭り会場), 友達の家 など | 地域参加や安全で関わる場 よい地域生活, 福祉に関わる場 居住地域の 福祉関係機関, 相談支援事業 など |
| 家庭 | 家庭生活を営む上で関わる場 家の内外(台所, トイレ, 洗面所, 居間, 浴室, 寝室, 玄関, 庭, ベランダ, 共有スペース, 駐車場), 親戚の家 など | |

見出し
 生活場面のカテゴリーごとの時期的な特徴など

「場・人・もの」の具体的な事物

「学習活動(指導内容・方法)」設定シートについて



P1-12

年間指導計画, 個別の指導計画等の確認



宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ

学習活動(指導内容・方法)設定シート

| 【指導の形態】 | | 【単元(題材)名】 | | 【時数】 | |
|-----------------------|-------------|--|---|--|---|
| 【指導の期間】 | | 【学部・学年・学級】 | | | |
| 個別 に 設 定 | 氏名 | 【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力) | 【学んだことを生かしている姿】 | 【場・人・もの】 | 【学習活動】 (指導内容・方法) |
| | グループ で実施 | 学習指導要領に基づき、教科や内容の観点と 照り、目標などを記入します。 | 年間指導計画に示された各教科の目標及び内容や、「学 んだこと」の観点から、児童生徒が学んだことを 生かしている姿を記入します。 | 「場・人・もの」マトリックスを参考に「場・人・もの」 を具体的に考えます。必要に応じて記入する場合は、前 記を参照してください。 | 「場・人・もの」を踏まえ、「もの」を教材 として活用し、児童生徒の「学んだこと」に つなげる学習活動を記入します。 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 集 団 で 設 定 | | 【主な学習活動】(指導内容・方法) | | 【指導体制】 | 【時数】 |
| | | | | | |

※個別の学習活動に基づき、一人一人が十分に学べる学習活動を考えます。集団として実現可能なものが特許し、指導体制(一斉指導、グループ指導、個別指導)や時数を設定します。

二つのポイント

ポイント①

児童生徒の生活を捉えること

ポイント②

「学んだことを生かしている姿」を考えること



単元計画等の指導計画の立案



第1章 理論・ツール編

- ・「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動の考え方を提案
- ・活用できるツールを提案

第2章 設定編

- ・各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)を児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定方法をStepごとに説明
- ・児童生徒の実態に応じた調整・見直しの留意点を明記

第3章 活用例編

- ・特別支援学校中学部と高等学園におけるツールの活用例を掲載